

# 杉並行政サービス民間事業化提案制度 「テーマ型」提案事業審査結果について

1 テーマ 電子地域通貨事業

2 提案件数 9 件

## 3 審査方法

杉並民間事業化審査モニタリング委員会に「テーマ型」審査会を設置し、公募要項に基づき、事業化に向けた区との協議を行う実施事業候補を以下の方法により審査し、選定を行った。

第一次審査（書類審査）と第二次審査の合計点が総計の70%以上であることを選定条件とする。

の条件を満たす提案が複数あった場合は、第二次審査の得点によって順位付けして選定する。

## 4 審査結果

上記の方法により審査を行った結果、選定条件を満たす提案が2件あったため、二次審査の得点により第1順位をフェリカポケットマーケティング株式会社、第2順位を株式会社NTTデータ信越とした。

なお、協議対象となる第1順位のフェリカポケットマーケティング株式会社の提案概要と評価は、以下のとおりである。

### （1）提案概要

「区内共通商品券」、「子育て応援券」、「長寿応援ポイント」の3事業を電子地域通貨事業の第一段階の対象事業とし、各事業の特性を踏まえ、民間の電子マネーを付加した非接触ICカード（フェリカポケット）による一括管理を行う。

その後、段階的に、区の助成事業やボランティア謝礼等も電子地域通貨で支給するなど、電子地域通貨を取得する機会を増やすとともに利用できる小売店等を拡大することで使う機会も増やし、電子地域通貨の循環を促す。

また、カードに公共施設の利用証、子供の安全見守りシステム、商店街の買物ポイントなどの機能を取込むことで幅広い年齢層へのカード普及を図る。

## (2) 評価

事業者が持つノウハウを活かし、地域通貨の機能だけでなく、公共施設の利用カードや子供の安全見守りシステムなどの機能を取込むことで、利用者の利便性の向上が図れることやコールセンターの設置、リスク管理体制など安全性の確保、システムの拡張性などの点については評価できる。

しかし、提案されている経費やその負担割合では、区の財政負担が極めて重く、費用対効果の面では課題が多い。今後、事業内容の精査と提案にある収入事業による運営財源の確保を図るなど、イニシャルコストを含めた総経費と費用負担の適正化及び経費に対する効果の向上について、区と事業者は、商連等を交えて協議を行う必要がある。

## 5 審査会委員（テーマ型）

委員名	所属・役職
黒川 和美	法政大学大学院 教授（民間事業化審査モニタリング委員会委員）
鎌形 太郎	三菱総合研究所 主席研究員（民間事業化審査モニタリング委員会委員）
牛山 久仁彦	明治大学 教授（民間事業化審査モニタリング委員会委員）
傍士 銑太	日本経済研究所 専務理事
西川 雅史	青山学院大学 准教授

## 6 審査経過

月日	会議名	内容
10月20日(火)	第2回杉並民間事業化審査モニタリング委員会	・応募状況について ・スケジュールについて
	第1回杉並行政サービス民間事業化提案「テーマ型」審査会	・審査委員長の選任 ・書類審査の審査表について ・今後のスケジュールについて
10月29日(木)	第2回杉並行政サービス民間事業化提案「テーマ型」審査会	・一次審査の結果及び二次審査事業者の決定について ・二次審査方法について ・今後のスケジュールについて
12月17日(木)	第3回杉並行政サービス民間事業化提案「テーマ型」審査会	・二次審査の進め方について ・事業者ヒアリング ・審査結果のとりまとめ

平成21年度杉並行政サービス民間事業化提案制度テーマ型提案審査結果

一次審査

		審査項目		配点	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社
1	基本方針	1-1	趣旨・目的の理解度	5	4.0	4.0	3.5	3.4	4.1	4.2	3.6	3.5	2.5
2	事業の概要	2-1	対象とした事業の理解度と期待される効果	10	7.6	7.8	6.1	7.6	6.3	4.9	7.2	5.4	5.2
		2-2	発行主体と運営主体の考え方の妥当性	5	3.6	4.0	3.1	4.0	4.1	2.6	3.1	2.7	2.5
		2-3	電子媒体の種類と活用方法の妥当性	5	3.4	4.3	3.6	3.7	3.9	3.8	2.9	3.5	2.4
		2-4	事業の仕組みの具体性	10	7.6	7.6	6.7	6.4	6.9	6.5	5.4	4.2	4.2
3	実施計画	3-1	課題の把握と対応策の的確性	10	6.5	6.1	5.3	6.3	4.9	5.5	4.9	4.5	3.7
		3-2	実施時期と手順の妥当性	10	6.5	6.3	6.5	6.5	4.1	6.4	5.7	4.7	5.3
4	想定経費	4-1	経費の妥当性と費用対効果	10	5.9	4.1	5.9	5.5	4.4	6.3	4.5	4.7	3.1
		4-2	費用分担の妥当性	5	3.5	2.6	3.9	3.7	3.1	3.4	2.6	3.4	2.6
5	総合評価	5-1	事業全体としての効果	15	11.2	12.8	10.1	9.7	9.5	8.6	9.5	9.2	9.8
		5-2	経営状況	15	10.5	7.8	10.5	9.3	10.5	7.8	6.8	7.4	4.9
		5-3	総合評価	15	9.3	9.7	10.7	9.3	10.3	8.0	7.4	7.6	4.9
合 計				115	79.6	77.1	75.9	75.4	72.1	68.0	63.6	60.8	51.1

二次審査

		審査項目	配点	A社	B社	C社	D社
1	事業計画の具体性と実現性		10	7.8	8.4	7.4	7.6
2	地域通貨の普及可能性と効果		25	20	23.4	19	18.8
3	リスク管理		10	5.6	7.2	7.4	6.6
4	費用対効果		35	26	23.2	22.2	23.6
5	総合評価		35	27	29.6	26.4	26
合 計			115	86.4	91.8	82.4	82.6
一次・二次審査合計			230	166	168.9	158.3	158
得点率 (配点合計/一次・二次審査合計)			-	72.2	73.4	68.8	68.7
順 位			-	2位	1位	-	-

提案事業者

UCカード(株)	(株)電通テック
(株)クレディセゾン	協同組合杉並カード連合
(株)NTTデータ信越	(株)日本アイデックス
(株)ビットメディア	デジタルビジネス協同組合
フェリカポケットマーケティング(株)	(順不同)